

令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 埼玉県

農業委員会名： 嵐山町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和4年4月1日

任期満了年月日 令和7年3月31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	8	8
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	8	8	4

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	457
農業経営体数	158

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	167
女性	55
40代以下	11

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	34
基本構想水準到達者	
認定新規就農者	4
農業参入法人	3
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	290	304				594

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	594	ha	207.85	ha	35.0	%
課題	離農者が増加する一方で、農業従事者の高齢化、後継者不足等により、耕作者が不足している。また、それらによる遊休農地の増加、農地の分散化がある中での農地の確保と有効利用を図ることが課題である。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和15 年度	集積率	56 %
今年度の新規集積面積	5.00 ha	農地面積(C)	594 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	212.85 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	35.8 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	14.38 ha	農地面積(F)	594 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	222.23 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	37.4 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	104.4 %		

農業委員会の 点検結果	農地の貸借制度の移り変わりの年度であったが、事前の周知により、多くの新規契約があり、期待を上回る結果となった。今後も農地中間管理事業や町の農地バンクを活用し、更なる農地の集積・集約に繋げていきたい。
----------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	19.13 ha	11.27 ha	7.86 ha
農業従事者の減少及び高齢化、後継者不足、地理的な要因により遊休農地が増加している。また、相続による町外・県外所有者等により、管理が難しい農地が増加している。			

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	26.35 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	5.27 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	1.61	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	町農政課、県の関係機関等と遊休農地の解消及び工程表の策定について、12月頃までに協議していく。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.50	ha
---------------------------	------	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.28	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	24.3	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	未策定
-------------------------	-----

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.00	ha
---------------------------	------	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	11月		12月～1月	
	1号遊休農地の面積	22.80 ha	うち緑区分の遊休農地	15.58 ha
			うち黄区分の遊休農地	7.22 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	2月		3月	

農業委員会の点検結果	遊休農地の解消に関する目標を達成することができなかったが、解消している農地はあるため、この実績をもとに引き続き解消に向けた活動をしていきたい。
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者	令和5年度新規参入者
	0 経営体	2 経営体	0 経営体
	0.00 ha	1.40 ha	0.00 ha
課題	耕作条件の良い農地は既に耕作者がいるため、新規就農者に必要な農地の確保が困難な状況であるが、町農政課や関係機関等と連携を取り、新規就農者、新規就農希望者への農地の斡旋や的確な指導を行う必要がある。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和元年	令和2年	令和3年	平均
	28.70 ha	25.70 ha	39.50 ha	31.30 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	3.10 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		2.94	ha
公表URL	-	(その他の公表方法)	窓口での開示
目標に対する達成状況(B)/(A)		94.8	%
(参考) 新規参入者の参入状況	参入経営体数	3	経営体
	取得農地面積	0.86	ha

農業委員会の点検結果	町の農地バンク事業を広報誌や委員らによる周知活動により、農地バンクを活用する農地所有者が増えてきたため、目標達成には至らなかったが、貴重な実績となった。
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	7	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	8	人
			農地利用最適化推進委員の人数	8	人

(2) 活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	農地の集積	町と連携し、全ての地区で話し合いの場を設定し、全ての農業委員、最適化推進委員が話し合いに参加し、担い手への農地集積を推進する。
12月	遊休農地の解消	利用状況調査にて判明した遊休農地の所有者に対し、必要に応じて指導をし、遊休農地の解消を図る。
2月	新規参入の促進	町が開催する相談会に出席し、新規就農やそれに係る農地の賃借等に関する相談を受け、適切に対応する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	2	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
10月	農地の集積	北部地区、中部地区、南部地区で話し合いの場を設定した。各担当地区の委員に参加してもらい、農地の集積、集約に繋がる立ち回りができた。
2月	新規参入の促進	担う者や新規就農希望者へ町の農地バンクに登録されている農地を斡旋し、遊休農地化を防ぐとともに農業者を増やし、農業の活性化に繋げることができた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数		2	回
開催時期	令和6年7月	相談会名	農業EXPO
参加者数	8名	開催場所	東京
相談会の内容	農業について知る・働く・習う・学ぶをテーマにした総合的な就農相談会。		
開催時期	令和7年2月	相談会名	農林水産FEST
参加者数	8名	開催場所	東京
相談会の内容	農業についての幅広い情報を発信され、必要に応じて農家と情報共有も行えるイベント。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数		0	回
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	2
目標に対して期待どおりの結果が得られた	14
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入